

行雲流水

No. 4 1 令和3年5月18日発行

北村山地区中学校総合体育大会の幕開け

校長 寒河江 正人

先日5月7日（金）、「北村山中学校駅伝競走大会」が開催されました。

本校の男女駅伝チームは、実に素晴らしい**力走**で、見る者に**感動**を与えてくれました。
選手一人ひとりが、そのもてる力を存分に発揮し、見事にゴールまで走りきりました。
男子チーム・女子チームそろっての優勝！！ おめでとうございます。

これまで練習に励まれた選手諸君に**賞賛の拍手**を送るとともに、指導・助言に当たられた高橋信清さん、そして、チームの活動を支え、励ましてこられた教職員・保護者の皆様、ご支援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、次は6月3日の**水泳競技大会**。あと16日後です。
そして、あと32日後の6月19日、20日には、**各競技大会**が開催されます。

日々、仲間とともに練習に励む生徒諸君に、次の言葉を添えて、心から**エール**を送る！

1. **自分の実力（自分たちチームの実力）を冷静かつ客観的に分析・考察せよ！**
2. **自分の強み（自分たちチームの強み）を生かし、弱点を克服する手立てを工夫せよ！**
3. **「工夫した手立てや作戦」を実戦（練習や試合）で試せ！**
4. **「試したこと」が実戦では何が通用して、何が通用しなかったのかを分析・考察せよ！**
5. **1～4のサイクルを繰り返し、過去の自分の実力（自分たちの実力）の壁を超えよ！**

大切なことは、「目の前の課題を、いかにしてより良く対応・解決」するか。

「対応・解決のためには、もっている知恵を前向きに発揮」しているか。

「様々な違う考えをもつ仲間と、協力して前に進める」か、ということです。

この「プロセス（過程）」で、一人ひとりが「成長する」ことが最も大切なことなのです。

「人に勝つ者は、力あり、自らに勝つ者は、強し」 老子（三十三章より）

（人に勝つ者は、相手よりもいささか力があって、その時に強いというだけのことである。

それよりも「自分自身に勝つ者」こそが、人間としては、最も強い「真の強者」なのである。）